

STOP・THE・子どもへの虐待!



十一月は、児童虐待防止推進月間です。どのような状況にあってもすべての子どもは、愛され大切にされなければなりません。虐待は、親だけの問題と捉えるのではなく、地域全体で子育て家庭を支援していくことが大切です。

児童虐待は、子どもへの人権侵害です。

乳児期からたくさんの脳の神経回路ができ、強い刺激や軽くても繰り返される刺激に対し、その神経回路が残っていきまます。不安、さみしさ、不信任、怒り、恐怖などの心の回路が残らないよう、やさしさ、嬉しさ、穏やかさなど、温かく安心した心の回路が残るような子育てが必要です。



特に心の傷(トラウマ)には、注意が必要です。子どもの年齢が低いほど重い精神的後遺症を残すと言われています。また、虐待は繰り返され、家族内連鎖が起こり大きな問題を引き起こすことになり兼ねません。

虐待を未然に防ぐために

子育て中の保護者・家族のみなさんへ

一人ひとりちがう個性をもった子どもたちに戸惑ったり、どうしていいかわからず悩んだりしていませんか。自分を責め、ひとりて頑張ろうとすると行き詰まってしまいますから、そんな時は誰かに話してみてください。



地域のみなさんへ

身近に子ども連れの人がいたら、話を聞いてあげるだけでも気持ちには楽になるものです。気軽に声をかけ、やさしく見守っていきましょう。

- 子どもの様子
- 泣き声が異常に高い
- 衣類や身体が非常に汚れている
- いつもおなかを空かせている
- 不自然な傷が多い など
- 保護者の様子
- 地域の中で孤立している
- 子どもが病気やけがをしても病院に連れていけない

- 子どもを置いてたびたび外出する
- 虐待行為(身体的・心理的・性的・ネグレクト)そのものの目撃
- たたく音や叫び声 など
- 「しつだけだから」「この子のためにしている」など言い訳を聞くことがあります。虐待かどうかは子どもの側から判断されます。

子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)に相談してください。

関係機関

- 県北児童相談所・各保育園・幼稚園・小中学校・町教育委員会・県北健康福祉センター・烏山健康福祉センター・馬頭健康管理センター・那珂川警察署・町医師団・町社会福祉協議会・民生委員児童委員・母子保健推進員・人権擁護委員・ウイメンズハウスとちぎ・サポートセンター空・袋田病院・なす療育園・子ども発達支援センター・その他

相談は、告発することではなく、援助のはじまりです。

事務局 健康福祉課
0287・92・1119

シリーズ那珂川町の民話

いぼ石沢

No. 8



久那瀬と松野の境に小さな沢がある。この沢の上流には、イボイボのついた石が、数多く散在している。

むかし、この地の集落に悪疫がはやり、この病に罹ると体に吹き出ものが出来、感染力が強くなり子どもたちは、次々と死んだ。集落の人たちは、感染を恐れ、病に罹った子を、沢の奥に捨てさせることとなった。沢を渡り、可愛い子を捨てて行く母親の姿が日増しに多く、母を慕って泣き叫ぶ声を背に逃げ帰っては、その場に泣き伏した。捨てられた子は、母を追ふ気力もなく沢に倒れ伏し、そのまま石と化した。その石には、アバタのようないぼイボが出来ていたことから、この沢を「いぼ石沢」と呼ぶようになった。

悪疫は治まったが、明くる年から、凶作が続いた。村の衆は、何かの祟りではと、祈禱師を頼み祈願した。そのお告げによると、「いぼ石沢に捨てた子どもの怨念が、龍となって作物を荒らしている。

これを鎮めるには、美しい娘を人身御供にすることだ。」と告げられ、誰の娘を選ぶか、大騒ぎとなったが、庄屋の娘に白羽の矢が立てられ、娘は淵に向った。たまたま通りがかつた若い武士が、「人身御供などもつての外」と、龍退治に淵に飛び込んだ。村人たちは、固唾を呑みながら神に祈った。やがて淵は血の渦となり、武士の姿は二度と見ることは出来なかつた。身を呈しての武士の温情で、再び村に平穏がもたらされた。助けられた娘は、武士を慕い追う様に、身を淵に投じられたと言つ。

文化財愛護会会員

堀江孝四郎



いぼ石の奇岩



■タイヤの空気圧をこまめにチェック

タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検、整備を実施しましょう。

タイヤの空気圧が適正値より0.5kg/cm不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。

また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

■不要な荷物は積まずに走行

不要な荷物を積まないようにしましょう。100kgの不要な荷物を載せて走ると3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。



不法投棄現場周辺の水質分析結果

(平成21年度第2回年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目	健康項目、生活環境項目、その他		
採水日	平成21年8月17日(月)		
採水場所	1. 周辺環境水	①投棄地直下河川	②小口川上流
	2. 投棄現場浸出水	①投棄地下流側観測井	②投棄地内観測井
調査結果	周辺への汚染拡大の兆候は認められない。		
問い合わせ	県馬頭処分場整備室那珂川分室	☎0287-92-1411	
	町環境総合推進室	☎0287-92-1110	

■駐車場所に注意

渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし、余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

平成21年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

学習に如する意欲や郷土に誇りをもつ児童生徒

平成21年度全国学力・学習状況調査が、小学6年生と中学3年生を対象に、4月21日に実施されました。

調査の内容は、教科に関する調査(国語と算数・数学)と生活環境や学習環境等に関する質問紙調査があり、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題(以後Aと記述)と、主として「活用」に関する問題(以後Bと記述)の2種類から構成されています。

教科に関する調査

小学校の平均正答率は、国語B、算数A・Bについて全国平均と比べ、マイナスイポイント以内で全国と同程度と判断できます。国語Aについては、5ポイントをやや超えて下回っています。中学校の平均正答率は、国語Bで全国平均をやや上回り、国語A、数学Aともマイナスイポイント以内で全国と同程度と判断できます。数学Bについては、5ポイントをやや超えて下回っています。

生活環境や学習環境等に関する調査 「国語や算数・数学の勉強が好き・大切である」と回答している児童生徒が多くいます。小学校では、全国平均を5ポイント以上上回っています。中学校では、全国平均と同程度となっています。本町の児童生徒の学習に対する意欲の高さがうかがえます。「家の手伝いをしている・近所の人に会ったときあいさつをしている・地域の行事に参加している」と回答している児童生徒が全国平均と比べると多くなっています。家族や地域の一員として自覚をもち生活している様子がうかがえます。

生活環境や学習環境等に関する調査

「学校に持っていくものを前日か、その日の朝に確かめている」と回答している小学生、中学生は全国平均と比べるとそれぞれ約8ポイント、約5ポイント少なくなっています。登校前の学校での学習等への準備については課題が残ります。家庭学習の時間については、平日1時間以上勉強している小学生、中学生とも全国平均を5ポイント程度下回っています。一方で、平日1日当たり3時間以上テレビ・ビデオ・DVDを視聴している小学生、中学生とも全国平均と比べると約5ポイント多くなっています。家庭での学習時間(習慣)の確保については、今後の大きな課題となります。

生活環境や学習環境等調査から見えてきた課題

「学校に持っていくものを前日か、その日の朝に確かめている」と回答している小学生、中学生は全国平均と比べるとそれぞれ約8ポイント、約5ポイント少なくなっています。登校前の学校での学習等への準備については課題が残ります。家庭学習の時間については、平日1時間以上勉強している小学生、中学生とも全国平均を5ポイント程度下回っています。一方で、平日1日当たり3時間以上テレビ・ビデオ・DVDを視聴している小学生、中学生とも全国平均と比べると約5ポイント多くなっています。家庭での学習時間(習慣)の確保については、今後の大きな課題となります。

今後に向けて

教科に関する調査と生活環境や学習環境に関する調査の結果と課題を分析し、それに基づき、児童生徒への指導や学習状況の改善に学校と連携を図りながら取り組んで参ります。この取り組みに対して、地域や保護者の皆さまに、今まで以上のご理解とご協力を願います。